

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 労働相談事業助成金
-------------------	------------------------

区分	番号	名 称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる
施策	4	雇用と就業環境づくりの推進
小分類	2	安心して働ける環境づくり
主要な施策	1	労働環境の向上と勤労者福祉の充実
事務事業番号	001	事務事業コード 31421001 事業開始年度 平成 4 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	労働相談事業助成金
------	------	------------	-----------

部 名	観光経済部	グループ名	商工労政 G
-----	-------	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 連合北海道登別地区連合会が行う労働相談事業
手段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 厳しい雇用環境中で、登別地区労働者の生活向上や職場環境の改善を図るため、市内労働者等の労働相談事業を実施する連合北海道登別地区連合会に対し助成金を交付する。
目指す姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 市内労働者及びその団体の地位・生活・福祉の向上を図る。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください)

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	労働相談件数	件	目標値	30	30	30	30	30
			実績値	16				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	3,000
合 計				1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	3,000
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	20	21			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		20	21			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業 主体として実施 していくことは 妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理 由、妥当ではな い理由は何です か？ 市民が安心して働ける環境をつくり、労働者 の地位・生活・福祉の向上を図ることを目的と した労働相談事業を支援することは、今後も必 要である。
2. 事務事業の成果について			
成果があがって いますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあ がっている 成果があがらない	→ 成果があがって いる理由、あが らない理由はな んですか？ 労働相談により、働きやすい環境が維持され ている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させ ることはできま すか？	→	大きく向上させるこ とができる 少し向上させるこ とができる 向上させることはで きない	→ どのようにして 向上させます か？ 向上させること ができない理由 は何ですか？ 労働相談の実施について、労働組合等を通じ て周知強化を図る。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさず にコスト（予算 や人工、所要時 間）を削減する ことはできます か？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法 でコストを削減 しますか？ 削減できない理 由はなんです か？ 本事務事業は、連合北海道登別地区連合会が 行う労働相談事業を支援するものであり、コス トの削減により、市内の労働環境の悪化を招く 恐れがある。

担当グループによる評価

維 持	左記の評価 を選択した 具体的な理 由（根拠）	労働相談事業は、労働者の地位・生活・福祉の向上を目的として実施しており、景気 が低迷している中、労働相談のニーズが今後も見込まれることから本事務事業を継続す る。
-----	----------------------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維 持	備考
-----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）